



令和4年(2022年)第22週 2022年5月30日(月)~2022年6月5日(日)

熊本市 感染症発生動向調査 速報



「A群溶血性レンサ球菌咽頭炎」が少し増加しています。人から人へ二次感染を起こしやすく、集団生活の場では特に注意が必要です。丁寧な手洗いは感染予防の基本です。外出先からの帰宅時や調理の前後、食事の前など、こまめに手を洗いましょう。

●A群溶血性レンサ球菌咽頭炎について

◆どんな病気?

A群レンサ球菌という細菌が、のど(上気道)に感染して発症する咽頭炎です。赤血球を壊す(溶血)毒素をもつ細菌による感染症のひとつで、主に学童期に多く、3歳以下の乳幼児や大人には比較的少ない病気です。

・感染経路①飛沫感染…患者のくしゃみなどのしぶきを吸い込むことにより感染。

②接触感染…細菌が付いた手を介して感染。

主にヒトとヒトとの接触で感染しやすく、家庭での兄弟間や学校、幼稚園、保育園などの小児の集団生活施設内での感染も多いです。

・症状…2~5日の潜伏期間の後に、突然の発熱とだるさ、のどの痛み(咽頭発赤)で発症し、イチゴのような舌(写真参照)がみられたり、嘔吐を伴うことがあります。点状紅斑様、日焼け様の皮疹が全身に広がる猩紅熱や、リウマチ熱や糸球体腎炎などの合併症を起こすこともあります。

・流行期……冬季及び春~初夏に多くみられます。

◆かかったらどうすればいいの?

・抗菌剤による治療を行います。症状が改善しても、お薬は決められた期間きちんと飲むことが大事です。

・のどの痛みがひどい場合は、食事は柔らかく薄味にするなど工夫しましょう。水分補給を心がけましょう。

◆予防法は?

①症状のある人との密接な接触を避けるましょう。②手洗い、うがいの励行。③感染者とのタオルの共用は避けましょう。



国立感染症研究所感染症情報センター「感染症の話」より抜粋

期 間		2022年 21週		2022年 22週	
		5/23~5/29		5/30~6/5(最新)	
疾患名	疾患の増減	報告数	定点当り	報告数	定点当り
インフルエンザ	➡	0	0.00	0	0.00
RSウイルス感染症	➡	0	0.00	0	0.00
咽頭結膜熱(プール熱)	➡	4	0.25	4	0.25
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	⚠️➡	1	0.06	7	0.44
感染性胃腸炎	➡	122	7.63	102	6.38
水痘(みずぼうそう)	➡	2	0.13	0	0.00
手足口病	➡	2	0.13	3	0.19
伝染性紅斑(りんご病)	➡	0	0.00	0	0.00
突発性発しん	➡	11	0.69	9	0.56
ヘルパンギーナ	➡	0	0.00	1	0.06
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	➡	1	0.06	0	0.00
急性出血性結膜炎	➡	0	0.00	0	0.00
流行性角結膜炎(はやり目)	➡	6	1.20	0	0.00
細菌性髄膜炎	➡	0	0.00	0	0.00
無菌性髄膜炎	➡	0	0.00	0	0.00
マイコプラズマ肺炎	➡	0	0.00	0	0.00
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	➡	0	0.00	0	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	➡	0	0.00	0	0.00

⚠️ 記号の意味…注意、増加中または今後増加の可能性がある